

【今号の1枚】オルタナティブ教育推進プロジェクトフェーズ2 (AQUAL2)



世界第2位の不就学児童数を抱えるパキスタン。写真に写っている兄弟の家族はアフガニスタンからの難民で、彼らもまた、幼少期に家庭を助けるために学校に通わなかったことにより、学習機会を逃しました。しかしながら彼らは現在、JICAが支援する不就学児童向けプログラムに参加し、着々と進級を続けています。

このプログラムでは勉強だけでなく、生活に必要な知識や考える力を身に付けることも重視しています。この兄弟が通う学習センターでは、2021年4月に新型コロナ感染予防のため、手洗い運動を開始しました。子どもたちのグループは手洗い漫画を先生から受け取ると、漫画のコマに沿って、ウィルスや正しい手洗いの方法を学び、最後に実際に手洗いの実技により知識を定着させます。この授業は子供たちのコロナ感染予防のみならず、子どもたちが授業で得た知識を家族や友達に伝えることで、コミュニティ全体の衛生向上にも寄与しています。

(写真提供：JICAパキスタン事務所)



インド アッチー・アードトキャンペーンでハローキティが助っ人に！

JICA インド事務所が実施中の衛生啓発活動「アッチー・アードトキャンペーン」に、強力な助っ人が加わりました。明るくて、ハートのやさしい女の子。ハローキティです。

JICA と株式会社サンリオは共同で、ハローキティ出演の手洗い啓発動画を制作し、英語版の動画を8月末にYouTube上で公開。瞬く間に各地で高評価を頂きました。

アッチー・アードトキャンペーンにおける啓発プログラムは、農村部含めて幅広く展開しており、月中旬以降はほぼすべてのセッションで今回制作した動画を使用しています。インターネット環境に乏しい地域では、動画を大きなスクリーンでオフライン再生。画面上にキティちゃんが登場すると、子どもたちは大興奮。「声をきいたのは初めて」「この歌は聞いたことがある」ハローキティという人気キャラクターのお蔭で、子どもたちの手洗いに対する興味関心が大きく刺激されました。

動画はヒンディー語に翻訳される等、10月以降もハローキティのインドでの活躍が続きます。



啓発動画のイメージ

YouTubeのハローキティチャンネル上でも、世界手洗いの日にちなんでハローキティが手洗いを呼びかけている動画が公開されましたので、ぜひご覧ください。

ハローキティチャンネル動画 URL : <https://youtu.be/VBrdLrFHddo>



啓発活動で実際に手洗いをした子どもたち



ハローキティの登場に興味津々の子どもたち

(JICA インド事務所 藤原秀亘)



SATO Tap で正しい手洗いを実践する子どもたち



SATO Tap で手洗する女性

水まわり・住宅建材メーカーの株式会社 LIXIL は、JICA インド事務所が、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防を目的として実施している衛生習慣向上啓発活動「アッチー・アードト（良い習慣）キャンペーン」に協賛企業として参加しています。

新型コロナウイルス感染拡大は世界中の人々が手洗い衛生の重要性に気づききっかけとなりました。世界の衛生環境の改善に取り組む LIXIL では昨年、水道設備の整っていない地域でも手洗いが実践できる、手洗いソリューション「SATO Tap」を考案しました。本キャンペーンでは、施工が不要で、操作も簡単なこの製品の提供を通して、インド各地で手洗い環境の整備とこまめな手洗いを呼びかけています。JICA のネットワークやノウハウを活用することで、より迅速に、より多くの方々に手洗いが届けられることを嬉しく思います。連携を通じ、地域住民の生活、広くは社会に大きな効果をもたらすために、活動を継続していきます。

(株式会社 LIXIL)

健康と命のための手洗い運動プラットフォーム第 2 回会合の報告

2021 年 10 月 15 日「世界手洗いの日」に、JICA 健康と命のための手洗い運動プラットフォームの第 2 回となる会合をオンラインで開催しました。参加人数は、プラットフォームの個人・団体会員、関係機関、大学、コンサルタント企業、JICA 等から約 100 名に及びました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

国際学校保健コンソーシアム 理事長でもある琉球大学 保健学科 国際地域保健学教室の小林潤教授から基調講演をいただき、株式会社地球システム科学 門上様と日本テクノ株式会社 村上様よりそれぞれプロジェクト研究「水供給・衛生分野の新型コロナウイルス対策の教訓と必要な支援方策の検討」、「国際 NGO との連携による学校・保健施設の衛生行動改善に関する情報収集・確認調査」における手洗いに関する調査結果や取り組みをご発表いただきました。また、JICA からは、様々な現場での手洗い定着に向けた多様な取り組みをご説明しました。質疑応答の時間では、本運動の今後の展開に関するご質問、様々な現場におけるアプローチ等に関する質問がありました。

■基調講演『ウィズ・ポストコロナの学校保健 ～学校での手洗い運動の国際的普及における考察～』

江戸時代、ペリーが日本を訪れた際、日本では衛生状態が非常に良かったことが記録に残されており、日本の衛生行動は、長い間日本人が持っていた生活習慣や教育により育成されてきたものと言えるそうです。「この衛生行動の定着を世界中に短期間でもたやすことは非常に難しく、根付かないと感じることもあるだろうが、2007 年から JICA が保健分野の支援で取り入れた 5S カイゼン活動も徐々に定着していることもあり、世界的な戦略をもって取り組みれば可能と考えられる」と小林教授は仰います。



小林教授による基調講演

学校保健の国際戦略においては、ヘルスプロモーションスクールというコンセプトが見直され、現在世界に普及しています。本コンセプトで重要な要素として①ヘルスポリシー、②支援的環境、③地域との連携の 3 つが挙げられました。子供たちの自由な発想を伸ばすことによって、オーナーシップが醸成され、それを地域に持ち込むことで地域連携が強くなり、地域住民が学校を支援するようになるそうです。保健教育は学校教育において優先順位が低い状況にある中で、地域住民の支援によって様々な学校活動が促進されていくことになります。このため、子供たちを単なる活動のターゲットではなくパートナーとして考える必要があります。

また、COVID-19 の学校保健への影響として、直接の感染対策だけではなく、社会経済的影響が大きく、子供の人権が侵害されている状況にあるようです（生活習慣病、児童虐待、メンタルヘルスの問題、ICT 中毒等）。こういった状況の中で、手洗い活動も含め、我々大人が子供たちの権利を守っていかなければなりません。ユニセフが 1989 年に制定した子供の権利条約から 30 年が経過した年に COVID-19 の感染が拡大し、今一度皆さんにこの問題を考えていただきたいとい

うことでした。

さらに、日本を含むアジア・太平洋地域がリードする災害教育では、災害への対応だけではなく、その根本にある気候変動の問題を教育に積極的に取り入れて災害教育と連携させていく動きがあります。COVID-19 も災害と考えることもできます。このように日本が行ってきた環境教育、保健教育、さらに災害教育、そして民間企業が製造した防災グッズの学校現場での使用とともに行動変容を世界に広げていく、次のアウトブレイクに対応していく、様々な自然災害に対して根本的な教育とともに対応していくことについては、官民連携で実施していけるのではないかと、学校保健普及における官民連携のヒントについてもお話いただきました。

■手洗いの定着と行動変容に向けて ～プロジェクト研究「水供給・衛生分野の新型コロナウイルス対策の教訓と必要な支援方策の検討」の調査結果より～

手洗いの習慣化に必要な要素には、①衛生教育、②環境整備、③動機付け、④コミュニティ・社会との連携強化、⑤既存観念の活用、⑥実践的なステップの実施、⑦10年程度の継続的な取り組みが挙げられました。手洗い行動が日本で習慣化されている理由は、官民学を挙げたハード・ソフト両面での物心つく前からの①～⑦の要素を組み合わせながら継続的に繰り返される多角的な取り組みが一役買っていると考察されます。



門上様によるご発表

また、行動変容を促進する上では、以下の3つを留意点としてお示しいただきました。

- 行動変容を促進する上で、行動変容ステージモデルの各ステージ（無関心期、関心期、準備期、行動期、維持期、再発期、確立期）に合わせた対応を行うことが効果的
 - 相手の置かれた状況や認識、考えを理解した後、エビデンスを活用しながら危機感を伝えるとともに、対象とする行動（手洗い）のメリットがその行動を新たに開始するデメリットを上回るよう説明を行い、行動に移行するような提案や交渉を行うことが必要
 - 継続的な行動に繋がるよう、短期的な目標を低く設定する等して、成功体験による自信向上を促すことが効果的
- ※本プロジェクト研究の成果については、ニュースレター [No.14](#)、[No.15](#) でも取り上げ、[プロジェクトブリーフノート](#)、[最終報告書](#) も公開しておりますので、ぜひご覧ください。

■衛生啓発と手洗いの定着に関する国際 NGO と JICA の取り組み ～「国際 NGO との連携による学校・保健施設の衛生行動改善に関する情報収集・確認調査」より～

学校、保健・医療施設における COVID-19 対策として、手指衛生は非常に重要な要素とされている一方で、COVID-19 感染拡大前の学校、保健・医療施設の手洗い施設へのアクセス状況は、途上国では、学校の 43%（2019 年）が石鹸を備えた手洗い施設にアクセスできておらず、COVID-19 対策の最重要施設である保健・医療施設でも、データが入手可能な 71 か国のうち 12 か国では、半分以上の保健・医療施設の医療現場で手指衛生が実践できない状況（2019 年）にあります。



村上様によるご発表

同調査は、ネパール、タンザニア、マダガスカルの小学校及び保健・医療施設を対象とし、水・衛生分野の国際 NGO（WaterAid）と JICA が連携して実施されます。互いの組織が持つノウハウとネットワークを合わせて学校・保健医療施設の衛生行動改善に取り組むことによって、コレクティブ・インパクトを発現することを目指しています。また、非常時のサービスデリバリーという点において、COVID-19 感染拡大による渡航制限がある状況でも現地に拠点を持つ WaterAid と連携することで、JICA の支援を各国の施設まで届けることが可能になります。

また、同調査で実施される予定のエビデンス蓄積のための 2 つの研究についてご紹介いただきました。

- 手洗い行動変化の計測：ナッジ等の衛生啓発の効果が他の場所での行動変容に繋がるのか
- 手洗い水の水质が手洗い効果に及ぼす影響：手洗い水に含まれる大腸菌や水の pH、硬度等が手洗い効果にどの程度影響するのか

同調査の今後の経過や報告については、手洗い運動事務局からも随時発信していきます！

※本調査の概要については、ニュースレター [No.17](#) でも取り上げておりますので、ぜひご覧ください。

関連情報は [こちら](#)： [水供給・衛生分野における新型コロナウイルス感染症への対策と支援](#)（JICA ウェブサイト）



事務局からお知らせ① さまざまな現場における手洗い運動活動状況の報告

JICA 健康と命のための手洗い運動開始から約 1 年が経過した 2021 年 9 月末までに、JICA 事業において 56 か国・地域、10 の本部部署、10 の国内機関で 256 件の多様な活動報告があり、推計で約 3 億人以上（延べ人数）に手洗いの重要性を呼びかけました。

「正しい手洗い漫画」（井上きみどりさん）の各国現地語への翻訳も 34 言語へと広がりました。また、民間企業と連携する活動も増え、合わせて 16 社の企業と連携しました。手洗い運動は、ますますその広がりを見せています。さらに手洗いを定着させていくために、連携して活動を進めていきましょう！



また、今後の課題は、手洗い行動を習慣化、定着化させることです。そのためには、幼少期からの継続的な啓発が効果的であり、母子保健分野での妊産婦に対する啓発や幼児に対するしつけ、基礎教育分野でのカリキュラムへの組み込みなどが重要です。引き続き JICA の様々な分野での協力で手洗いの促進を組み込み、効果的だった好事例を他国にも紹介するなど、感染症に強い社会の基盤づくりへ貢献したいと考えています。



事務局からお知らせ② 「世界手洗いの日」広報のお知らせ

●JICA トピックス記事の紹介●

【10月15日は世界手洗いの日】世界に広がれ！
JICA「健康と命のための手洗い運動」：この1年間で約3億人にその大切さが伝わりました

10月15日「世界手洗いの日」に合わせ、JICA 健康と命のための手洗い運動に関する取組みを JICA ニューストピックスで分かりやすく紹介しています。日本語・英語で記事にしていますので、ぜひ皆様の手洗い活動にもお役立てください。

日本語版：

https://www.jica.go.jp/topics/2021/20211015_01.html

英語版：

https://www.jica.go.jp/english/news/field/2021/20211015_02.html



←子どもたちが手洗いする様子（パレスチナ）

●動画を制作しました●

世界に広がれ！JICA「健康と命のための手洗い運動」

これまでの手洗い運動活動を紹介した 90 秒の動画を制作しました。ぜひシェアしていただき、手洗い運動を広げていきましょう！

日本語版：<https://youtu.be/vQhdcmWwXeg>

英語版：<https://youtu.be/zWLGkjpPSVo>



本ニュースレターに掲載・共有したい記事・写真・情報等を随時募集しています！

①配信／配信停止の希望、②記事掲載の希望、③本メールマガジンの表示不具合などのほか、ご不明な点やご要望、ご感想がございましたら、下記の編集・配信担当支援スタッフまでご連絡ください。



地球環境部 JICA 健康と命のための手洗い運動事務局

Web サイト <https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/index.html>

Handwashg@jica.go.jp

